

平成26年 5月28日

参 考 資 料

(県政・相模原・平塚・藤沢・厚木・大和記者クラブ、町田記者会同時発表)

第4回厚木飛行場からの空母艦載機の移駐等に関する協議会の開催結果について

本日、次のとおり標記協議会が開催されましたのでお知らせします。

- 1 日 時 平成26年5月28日(水)13時30分～14時15分
- 2 場 所 県庁新庁舎5階 第5会議室(横浜市中区日本大通1)
- 3 出席者 防衛省南関東防衛局長、県副知事及び厚木飛行場周辺9市副市長等
- 4 結果概要

(1) 国からの説明要旨

ア 厚木飛行場からの空母艦載機の移駐に係る進捗状況について

岩国飛行場において、平成26年3月に既海兵隊部隊の移動が完了した。今後は、従前の既海兵隊部隊地区の解体を進め、コミュニティ地区の整備を本格化する。

平成26年3月から、愛宕山地区での家族住宅のための造成工事の準備工事に着手している。今後も万全を期し、事業を着実に進めていく。

また、愛宕山地区の整備に関して、法令手続きや周辺地域への影響、地元自治体の要望等の対応に万全を期すため、「空母艦載機の移駐等に関する事業推進チーム」の下に新たに「愛宕山地区特別検討班」を設けた。各事業推進チームを最大限活用し、迅速に対応することで事業の着実な推進に努めていきたい。

イ 厚木飛行場周辺住民及び自治体の負担の軽減策について

住宅防音工事の対象となる住宅の建築年次を本年6月に更に緩和する。今後も住宅防音工事の着実な実施に努めていきたい。

(2) 自治体からの発言要旨

5月25日、26日にも米軍機の深夜飛行による騒音被害があった。また、5月21日のいわゆる「第4次厚木基地騒音訴訟」判決でも騒音は受忍限度を超えていると判断されたところである。長年騒音に苦しめられている住民にとって移駐の早期実現は切なる願いである。国におかれては全力で取り組んでほしい。

国におかれては、1日も早い移駐が実現できるよう更に取り組むとともに、施設整備の進捗状況を適時適切に情報提供してもらいたい。

移駐完了までの間も実効性のある騒音被害軽減策をしっかりと講じてもらいたい。住宅防音工事について、年次緩和などの取組をより一層推進してもらいたい。

(問い合わせ先)

厚木飛行場からの空母艦載機の移駐等に関する協議会事務局

(神奈川県政策局基地対策部基地対策課)

課長 井上 (045)210-3370

対策推進グループ 舘野 (045)210-3375